

中野区教育ビジョン 目指す人物像

- 自らの力で道を切り拓く、進取の気概をもった人
- 多様な人間性を認め合い、思いやりあふれる人
- 公徳心に富み、社会に役立つ人
- 家族、わがまち、そして自らの祖国を愛する人

目指す生徒像

- 主体的に学び、対話し、考えを深め、適切に判断して行動できる生徒
- 多様性を理解し、互いの立場、考え、良さ、違いを認め合える生徒
- 仲間とともに心も体も成長しようと努める生徒
- 学校・家庭・地域・社会の一員として、自分の役割と責任を考え、ともに支え合える生徒

○ 学び合いを通して、様々な立場や自分と異なる考え方があることを理解し、自分の考えを広めたり、深めたりできるようにする。また、合意形成が図れるように努める。

- 我が国の伝統・文化に対する興味・関心を高めるとともに、他国の文化も尊重しようとする態度をもつ。
- 朝読書を通して、落ち着いた読書をし、学びに向かう習慣を身に付けるとともに、「中学の100冊」や「明和中の100冊」の読破などを通じて、豊かな情操を育み、生涯にわたる読書生活の基盤を作る。
- 目標をもち、見通しをもって計画的に学習に取り組む。
- 朝食を欠かす食への、挨拶をする、きまぎる守るなど、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、毎朝の健康管理や食育、体力向上に向けた取組を通し、人生100年時代を元気でよりよく過ごすことができるよう、健康と体力を保持・増進する基盤を作る。
- SNS学校ルール及び家庭ルールを踏まえ、自身の生活習慣、健康を守るとともに、情報社会において責任ある行動を取れるようになる。
- 様々な学校行事や委員会、部活動などに自主的、自発的に取り組み、リーダーシップや協調性、自治的能力を培う。
- 社会の出来事に関心をもつとともに、自己理解を深め、「キャリアパスポート」を活用しながら、自分の生き方を考え、主体的に道路を選択できるようにする。
- 地域の一員としての自覚をもち、新型コロナウイルス感染症の感染防止に留意しながら、地域行事や地域清掃、防災訓練等のボランティア活動に積極的に参加するなど、多様な人々との関わりを通して社会貢献意識を育む。

教育目標

人権尊重の精神を基盤に、レジリエンスをはぐくみ、
21世紀をよりよく生き抜く力を身に付けるために
○ 学び合う ○ 認め合う ○ 高め合う ○ 支え合う

期待される学校像

- 一人ひとりの能力を最大限に伸ばす学校（夢の実現に向けた支援を充実）
- 自己肯定感や自己有用感を高める学校（認め、励まし、応援する指導の重視）
- 安全で安心な学校（誰もが、元気で明るく生き生きと過ごせるよう環境を整備）
- 地域とともにある学校（地域の一員としての自覚をもち、連携・協力）

○ 令和4・5年度東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」として、全ての教育活動において人権教育を推進し、豊かな学び合いができる環境を整える。

- 東京都教育委員会「オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校」として、共生社会の実現に向け、特別支援教育を充実させるとともに、障害者理解、ボランティアマインドを推進していく。
- 道徳科を要した全ての教育活動において、自己有用感を基盤とした自己肯定感を高め、他者を思いやる心や自他の生命を尊重する態度、社会貢献意識を醸成する。
- 様々な教育活動において、学び合い、認め合い、高め合い、支え合う場を設けるとして、一人ひとりの生徒が自分の居場所を確保し、安心して生活できる環境づくりを行う。また、豊かな情操をはぐくむことができるよう、校内環境を整える。
- 安全・安心な給食の提供と食育の充実を図る。
- 中野区いじめ防止等推進条例及び中野区いじめ防止基本方針に基づき、本校の教育理念「一人ひとりの人権と多様性の尊重」の下、学校いじめ対策委員会を中心に、組織的な相談機能及び組織的な相談機能を高め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決、早期解消を図る。→「いじめをしない、させない、見逃さない」
- 情報モラル教育やSOSの出し方に関する教育を一層充実させることで、「ネットいじめ」の未然防止を図るとともに、保護者との連携を強化する。
- 保幼小中の学びの連続性を重視するとともに、連携小学校4校との情報共有や相互理解を一層充実させ、「他者との関わり」を柱とした明和中学校区カリキュラムを検討していく。
- スクール・コミュニティの実現を目指し、保護者や地域との連携強化を図るとともに、地域人材や資源、包括連携協定を結んでいる企業や大学等との外部機関を活用し、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。
- 学校家庭やホームページでの発信を通して、本校の教育課程の趣旨や内容について、家庭や地域と共有を図る。
- 実践的な防災教育や防犯教育を推進する。特に、生徒一人ひとりの防災意識と対応力を高め、地域防災の担い手としての資質と能力を育成する。

基本方針

- 豊かな心をはぐくむ教育の充実
- 安心して学ぶことのできる学校生活の実現
- いじめに対する組織的対応の強化
- 一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育の充実
- 15年間の学びの連続性の確保
- 多文化共生社会で活躍する人材の育成
- 健やかな体と健康で安全に生活する力の育成

求められる教職員像

- 向上心をもち、絶えず、学び続ける教職員
- 健康で、柔軟性があり、生徒一人ひとりの良さを見出し、引き出し、伸ばすことのできる教職員
- 危機管理意識を高くもち、気付き、行動し、的確に判断できる教職員
- 教育公務員として、都民の期待と信頼に応える教職員

○ 人権教育を軸としたカリキュラム・マネジメントを踏まえ、多様性を理解し、互いの違いを認め合える学校風土を醸成する。

- 全教員が、教師主導型の授業から学習者主体の学びに転換することの重要性を再認識しニューノーマルの学習モデルの実現を目指して学校全体で授業改善を行う。
- 各種学力調査や体力テスト、意識調査結果を分析し、生徒の実態や特性を踏まえた授業改善を組織的に行う。
- 数学・英語の少人数・習熟度別指導や、放課後学習教室「まなびや」等を通して、個に応じた指導を充実し、生徒の学習意欲を高めるとともに、そのもてる力を最大限に引き出すよう努める。
- 教職員一人ひとりが生徒の不安や悩み等の早期発見に努めるとともに、組織的なネットワークの下、時期を失すことなく課題を共有し、解決策を探り、即時対応することで、早期解決を目指す。
- 家庭との連携を十分図りながら、不登校生徒等への支援を丁寧に行っていく。
- 公費・私費ともに適時適正な会計処理を実施する。
- 「働き方改革関連法」及び「中野区部活動ガイドライン」を遵守し、教職員が心身ともに健康で、生徒一人ひとりに向き合える時間を確保する。
- 教職員の背中を見て、生徒は育つ。全ての基本である「挨拶」を、教師自ら励行する。特に、接遇（電話対応、来客対応）に留意する。
- 法令や「教職員の服務に関するガイドライン」を踏まえ、体罰や個人情報紛失等の服務事故を絶対に起こさないという意識と行動を徹底する。

（机上整理・個人情報の手渡し、複数名での書類確認）